

外来魚駆除大会と天気

竹中 景亮(一般参加)

私は、2016 年に「琵琶湖を戻す会」の存在を知りました。

戻す会の存在を知る前の 2013 年から、度々琵琶湖に出かけては多くのブラックバス、ブルーギルを釣り上げており、微力ながら琵琶湖を有るべき姿に戻せるよう貢献してきました。

2017 年より、本格的に外来魚駆除大会に参加させていただき

時に大型のブラックバスを釣り上げて、大会を盛り上げる事に一役買つたと自負しております。

ここで 1 つ疑問に思ったことがあります。

外来魚駆除大会では、主にミミズをエサに家族連れの方々が釣り上げるのですが

毎回毎回結果に差が出ます。自然が相手ですので、同じ釣り方で毎回同じ釣果が得られる訳ではないのですが、たくさん釣れるには、何か条件があると思い

今回発表の題材とさせていただきました。

では、釣れる条件とは何でしょうか？

私が考えられる限りではあります、以下の 3 点が挙げられます。

- ・日の出、日の入りの前後 1 時間(マヅメ)

- ・晴天よりも悪天候時(曇天や小雨)

- ・水に濁りがある

この中から今回は、晴天よりも曇天または小雨の方が釣れるのではないか？と仮説を立てて関連性を調べることにしました。

調べた事をまとめると下記になります。

- ・4 月: 開催日にかけて水温上昇すると釣れるかも？

- ・9 月: 降雨による水温低下が必要か？

- ・10 月: あまり関連性が見られない

→結論: 雨が降った方が、よく釣れるかも…

ある程度の関連性はありそうでしたが、断言できるほどではありませんでした。

それでも、夏の高水温時は降雨による水温低下があると

釣果が望めそうな事が分かっただけでも調べた甲斐がありました。

2026.1.31 追記

参加者 1 人あたりの駆除重量と降水量の関係を調べたところ

大会 2 日前から当日の合計降水量が 60mm 以上ある場合

駆除量が伸びる傾向があることが分かりました。

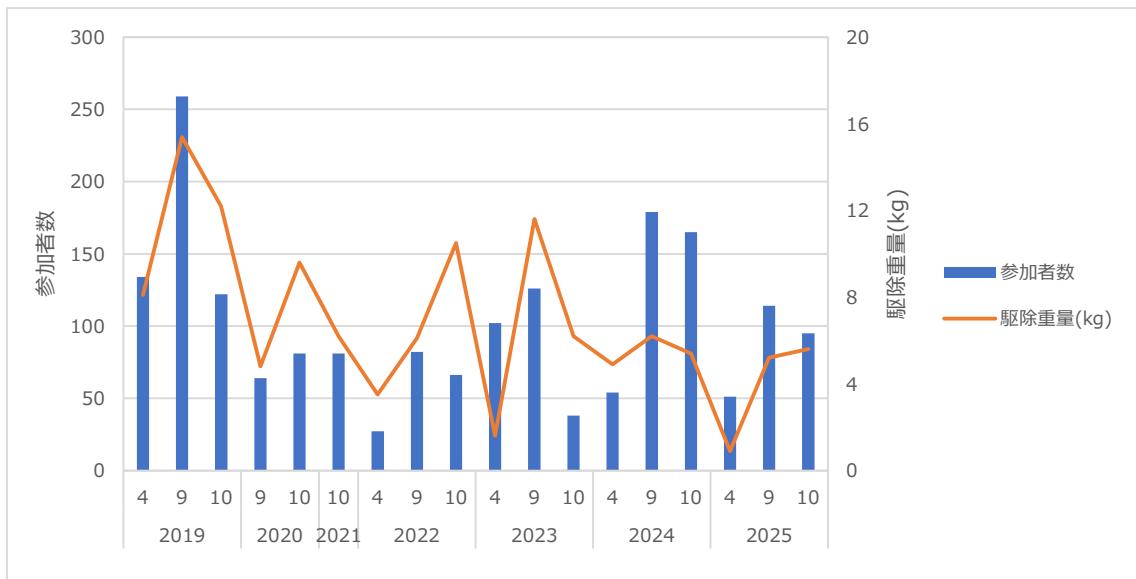


図-1 参加者数と駆除重量の関係

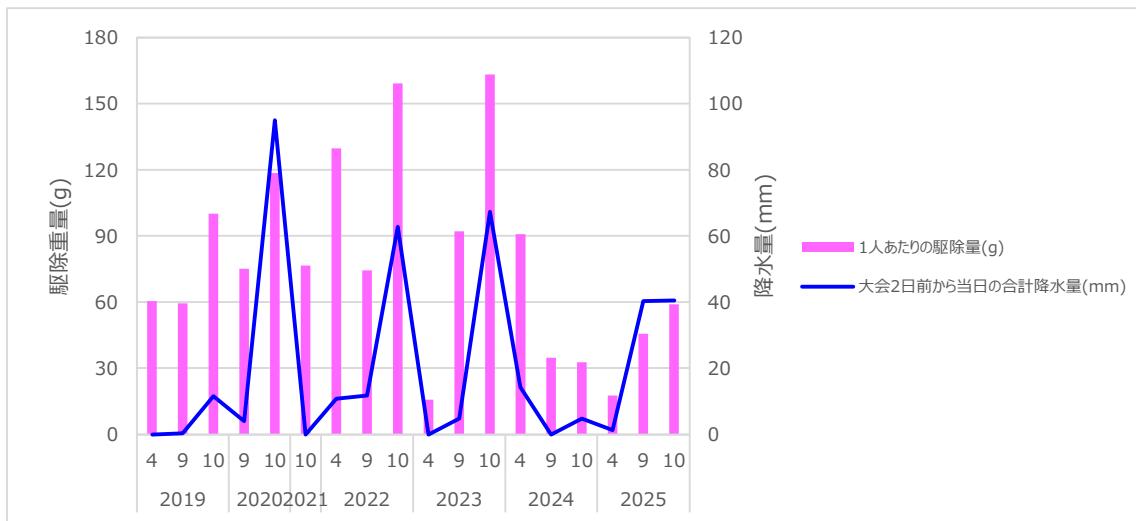


図-2 参加者 1人あたりの駆除重量と降水量の関係